

身体拡張 2018

公園デビュー

身体拡張  2018

2018/2

2 (金)
3 (土)
4 (日)
8 (木)
9 (金)
10 (土)
11 (日)
12 (月・祝)
15 (木)
16 (金)
17 (土)
18 (日)

公園のルール

1. きれいに安全に
ゆずりあって使いましょう。
2. こまったことや
分からないことがあったら
誰かに声をかけてみましょう。

開園時間
11:00 ~ 19:00 (入園は 18:30 まで)
※各イベントにより開始時間は異なります。

入園料

【一般】
全日程フリーパス：1,800 円
1 日フリーパス：1,000 円

【割引】 学生、65 才以上、団体 (10 名以上)
全日程フリーパス：1,000 円
1 日フリーパス：600 円

※高校生以下無料
※木・金曜日 | 無料開放日

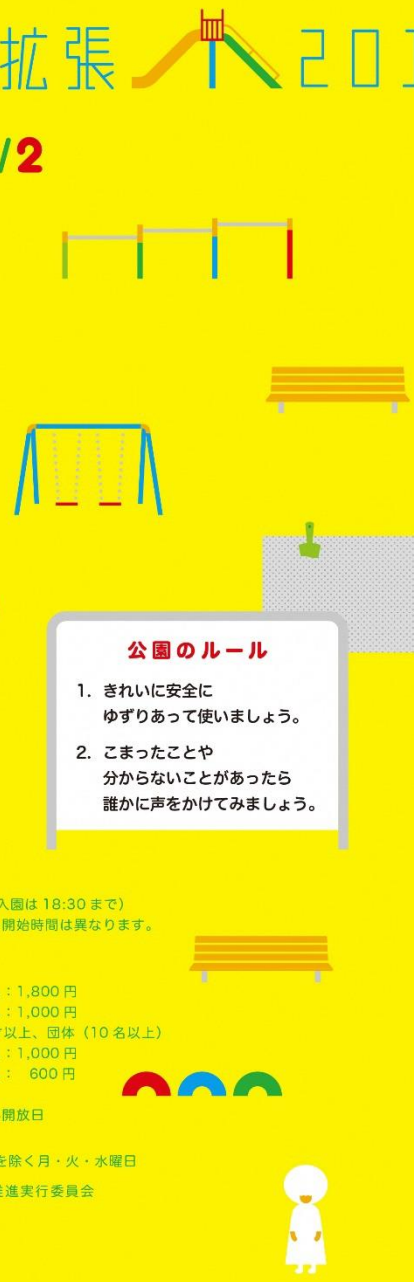
休園日
2月12日 (月・祝) を除く月・火・水曜日

主催 身体芸術推進実行委員会
共催 アーツ前橋



<http://artsmaebashi.jp/>

詩／パフォーマンス／DJ／演劇／音楽／ダンス



はじめに

身体表現（パフォーマンス、音楽、演劇、ダンス、ポエトリリーディングなど）に焦点をあてたイベント「身体拡張 2018 公園デビュー」が、2018 年 2 月、3 週間にわたって展開されます。「身体拡張」とは、一人一人がもっている身体の可能性を拡張し、ジャンルの壁を突き抜けた新しい表現の地平を探ってみようというコンセプト。大都市とは異なり、演劇・音楽・詩などジャンルを超えた交流がごく自然に生まれている前橋ならではのポテンシャルを引き出すことが目的です。アーツ前橋のギャラリーを開放して、既存のジャンルの枠にとらわれない身体表現のための場を「公園」と名付け、誰もが身体を拡張する楽しみへと「デビュー」できるような空間を作り出します。週末には様々なイベントやワークショップを開催し、この公園で様々な出会いや新しい関係が生まれ、前橋の身体表現をさらに活気づけていきたいと考えます。

企画の経緯

本企画は、2017 年 3 月に実施されたワークショップ「身体拡張ラボ」をきっかけとして生まれました。「身体拡張ラボ」では、フラメンコの踊り手や高校の演劇部員など、前橋周辺で身体表現に関わっている様々な方々に声をかけ、ジャワ舞踊家・佐久間新（大阪）、声のアーティスト・山崎阿弥（東京）によるワークを経験するなど、2 日間という短い期間ながらも、濃密で刺激的な空気が生まれました。このワークショップの参加者を核とし、2017 年 2 月にアーツ前橋で行われた展覧会「前橋の美術 2017 ～多様な美との対話～」に呼応するかたちで同年の 8 月に発足したのが、「身体の芸術推進委員会」であり、11 月の「前橋めぶくフェス」ではサーカスなどをメインに「フィジカルセンセーション」と題した企画を行いました。今回の企画では、それぞれが異なるジャンルに属する実行委員のメンバーが知識やアイデアを持ち寄りながら、議論を重ねた結果、単なる上演イベントではなく、身体表現に興味のある人なら誰でも「身体拡張」を体験できる場を構想するに至りました。「身体の芸術推進委員会」が満を持して放つイベント「公園デビュー」は、上演やワークショップなどといった一定の枠にとどまらない、新しいコンセプトを実現しますので、ご期待ください。

メッセージ

あの公園は太陽がないかわりに詩がこころの奥底に光をおくり、照らし出されたことばがセリフとなって演劇をつくる。風が吹かないかわりに音楽の躍動がからだをふるわせ、それがダンスになる。あの公園であつまろう。

新約聖書の一節には「はじめに言葉ありき」とあります。言葉は知性を育み、コミュニケーションを拡張し、民族や国家に多様な文化を発展させましたが、それ故に今日まで連綿と続く宗教戦争など複雑で分断された世界を形成する一因にもなりました。言葉を使う生き物はほぼヒトだけです。逆に言えば生き物は言葉を使わないといっていい。それは言葉が生き物の生き方の本質にはあまり関係なく、そんな特殊な生き方を選択したヒトはやはり生き物としてはどこか間違っているのかもしれない。

言葉が生まれる前から歌や踊りはあったと言われています。今も劇場や音楽堂などで上演されるそれら身体表現は一瞬一瞬が演じたそばから消えていきます。そんな儚いものに人々が惹かれるのはなぜでしょう。それは太古より続く身体の共感、演者が「からだで表現するよろこび」を、同時にみんなでわかち合うよろこびがあるからではないか、とわたしたちは考えます。陽気な音楽にからだ動き出すのも、美しい歌声に涙がこぼれるのも、ユニークなダンスに笑いが起こるのもみな、からだが発した表現に、からだが返す表現の呼応です。生き物として言葉を持ったことが間違いならそれをセリフにして発話のよろこびに変換する技術が演劇なのかもしれません。

今回わたしたちはそんな身体表現の現場を街中の小さな「公園」に見立てることにしました。この公園では演劇や音楽、詩の朗読やダンス、パフォーマンスなどの「上演イベント」があります。そしてイベント以外でも表現者たちが時間と場所をシェアしながら練習をしたり語り合ったりしています。そんな表現が生まれる現場を一緒に体験してみませんか。

この公園に来る人はどんな人でしょう。演じる人、それを見る人、遠くから様子をうかがう人、ぼったりそこに出くわしてしまう人、ただなんとなくそこにいる人。来る理由は様々ですが、みんな公園利用者です。そこで出会う様々な表現や人が、互いの立場から少しはみ出して、なにか新しい関係を結んだり、異なる表現を作り出したり。みんなでそんな身体表現の風景をつくりたいと思います。

身体のアート推進実行委員会

開催概要

【事業名】 身体拡張 2018 公園デビュー

【会 期】 2018 年 2 月 2 日（金）、3 日（土）、4 日（日）、8 日（木）、9 日（金）、10 日（土）、
11 日（日）、12 日（月・祝）、15 日（木）、16 日（金）、17 日（土）、18 日（日）

計 12 日間

【休 園 日】 2 月 12 日（月・祝）を除く月・火・水曜日

【開園時間】 11:00～19:00（入園は 18:30 まで）

【会 場】 アーツ前橋（群馬県前橋市千代田町 5-1-16）

【入 園 料】 <一般>

全日程フリーパス：1,800 円

1 日フリーパス：1,000 円

<割引：学生、65 才以上、団体（10 名以上）>

全日程フリーパス：1,000 円

1 日フリーパス：600 円

※高校生以下無料

※障害者手帳等をお持ちの方と介護者 1 名は無料

※木・金曜日 | 無料開放日

【主 催】 身体のアート推進実行委員会

【共 催】 アーツ前橋

【協 力】 清水保彦、津田等

【出 演 者】 秋福音、アビシェイカー、荒井正人、新井隆人、荒木聡志、石坂亥士、今貂子、
大日向基子、桐生大学短期大学部学生・卒業生、國崎理嘉、郡司厚太、小出和彦、
小暮香帆、酒井一有、坂川善樹、佐藤あつし、白川昌生、鈴木伸一、絶望グロテスク、
創作ダンスひまわり会、月映、てあしくちびる、内藤奈美、中村ひろみ、西原尚、
にれいとしゆき、灰野敬二、灰ホトラ、ぴったと仲間たち、
ファインフィットインストラクター、福西みゆき、前橋ユーレー、
ミュージカルユニット cabo、武藤大祐、村田桂吾、村田峰紀、山賀ざくろ、
ラブリー恩田、和合亮一、Abe “M” ARIA、carry 音、KPC、kuku、MJOG 踊る会、OKANIWA、
OMEGA POINT、Rinn ほか

【実行委員】 新井隆人（詩人）、大日向基子（パフォーマー）、岡庭涼（DJ）、
小出和彦（劇作家・演出家）、坂川善樹（演出家）、住友文彦（アーツ前橋館長）、
中村ひろみ（演出家・役者）、武藤大祐（舞踊学者）、村田峰紀（パフォーマー）、
山賀ざくろ（ダンサー）

この公園の楽しみ方

1 アーツ前橋の地下ギャラリーが誰でも訪れることのできる期間限定の公園

公園のルールを守ればだれでも参加 OK! 作品の発表や上演、練習場所として使用する人向けの事前説明会を行います。

公園のルール

- ①きれいに安全にゆずりあって使いましょう。
- ②こまったことやわからないことがあったら誰かに声をかけてみましょう。

2 平日と週末で異なる楽しみ方

平日は無料開放。ふらっと立ち寄って、散歩したり、考えごとをしたり、本を読むこともできます。ダンスや楽器、発声練習をする人がいるかもしれません。ゆるやかに、出来事や人と人がつながっていきます。土日祝日は有料のフリーパスを使って、演劇や音楽、詩の朗読やダンス、パフォーマンスなど身体表現のセッションなどが楽しめます。開催期間中は、公園に出没する人々と、何かをする人や何もしない人のあいだで、突然何かが始まる可能性もあります。

3 灰野敬二、和合亮一が登場

世界的な評価を集めてもなお自身の表現を追求する灰野敬二のライブパフォーマンスや、福島県から『詩の^{つぶて}礫』で被災地の思いを発信し続ける和合亮一が朗読とトークで登場します。

4 多彩で多様なワークショップ、フォーラム、シンポジウムが開催

子どもから大人まで楽しめるワークショップ（山賀ざくろ、石坂玄士、今貂子ほか）や、みんなで語り合うフォーラム（「公園デビューした人たち」）、考えを深めるシンポジウム（登壇者：白川昌生、住友文彦、武藤大祐）などのプログラムも用意されています。さらに、この公園の中では自然発生的に、時には同時多発的に、ワークショップやイベントが沸き起こることもあります。

5 本県の演劇の二大生き字引による展示とレクチャー

四半世紀にわたり群馬県のアマチュア演劇公演のほぼすべてを見続けてきた清水保彦の観劇の記録と、日本全国の演劇人からその指導力を高く評価された荒井正人による 70 年代&80 年代の演劇レクチャー。県内の演劇人が長年切望した 2 人の企画がいよいよ実現します。

主なイベント

◎ オープニングイベント

身体拡張 2018 公園デビューの関係者が一堂に会すオープニングイベント。

日 時：2月2日（金） 19:00～21:00

会 場：ROBSON COFFEE アーツ前橋店

入場料：1,000 円（1 ドリンク付）※ 全日程フリーパスをお持ちの方は 500 円（1 ドリンク付）

出 演：身体芸術推進実行委員会ほか

◎ 灰野敬二 ライブパフォーマンス

1970 年に「ロスト・アラーフ」のヴォーカリストとして加入、そして音源製作を開始後、1988 年「不失者」を結成。「静寂」をはじめとした多数のグループ、他ジャンルとのコラボレーションなど多様なスタイルで国際的に活動している灰野敬二によるライブパフォーマンス。世界的な評価を集めるもなお、自身の表現を追求する真のアーティストのパフォーマンスをお見逃しなく。

日 時：2月10日（土） 14:00～15:00

出 演：灰野敬二



撮影：Kazuyuki Funaki

◎ 和合亮一 朗読とトーク「こころはからだ」

東日本大震災後、ツイッターで『詩の磔』を発表。遠藤ミチロウ、大友良英等と「プロジェクト FUKUSHIMA!」を開始するなど、福島県から発信を続ける和合亮一の朗読とトーク。

日 時：2月3日（土） 14:40～16:30

出 演：和合亮一



◎ 中村ひろみ ひとり芝居『初恋橋』への途^{みち}

ストレッチ・ウォーミングアップ～「初恋橋」公開稽古～通し稽古を行い、身体と空間が徐々に演劇化する過程を可視化します。

日 時：①2月 2日（金）	11:00～19:00
②2月 3日（土）	17:00～19:00
③2月 4日（日）	13:00～17:00
④2月 8日（木）	11:00～19:00
⑤2月 9日（金）	14:40～16:00
⑥2月 11日（日）	14:40～16:00
⑦2月 12日（月・祝）	13:00～16:40
⑧2月 15日（木）	11:00～16:00
⑨2月 17日（土）	17:00～19:00
⑩2月 18日（日）	13:00～16:00

出 演：中村ひろみ

◎ 「寿歌（ほぎうた）」 隆善舞台 公開稽古

隆善舞台による小劇場演劇の名作「寿歌」（作：北村想）の公開稽古並びにワークショップを行います（本公演は、別日程で前橋市芸術文化れんが蔵にて上演）。

期 日：①2月 3日（土）
②2月 4日（日）
③2月 10日（土）
④2月 11日（日）
⑤2月 12日（月・祝）

出 演：飯塚清人、黒澤結衣、雨宮潤、富井大遥、鳴海琢元、野尻裕介、手島実優、等松弘基、
小黒泉奈

演 出：坂川善樹

◎ ダンスワークショップ「即興ダンス入門～対話するように踊る～」

振付を覚えなくてもダンスは踊れます。まずは対面する相手の呼吸や身体の動きに同期したり委ねたりするところから始めます。基本は習うより慣れろ。できれば3回の連続受講をお勧めします。（1回でも可。）

日 時：①2月 3日（土）	11:00～13:00
②2月 4日（日）	11:00～13:00
③2月 10日（土）	11:00～13:00

講 師：山賀ざくろ

対 象：ダンス初心者又は経験者（高校生以上）

定 員：各回先着 8 名

申込み：アーツ前橋へ電話（Tel.027-230-1144）

◎ daytime music

公園のお昼、2 日間にわたり、4 組 4 様の音楽をお楽しみいただきます。

日 時：①2 月 3 日（土） 11:30～12:30 出 演：てあしくちびる、Rinn

②2 月 4 日（日） 11:30～12:30 出 演：carry 音、kuku

◎ 内藤奈美ソロダンスパフォーマンス

ポエトリーリーディングとコンテンポラリーダンスを組み合わせ、ことばとからだが一体化した、内藤奈美のパフォーマンス。

日 時：2 月 3 日（土） 13:00～13:30

出 演：内藤奈美

◎ オープンマイク in アーツ前橋

音楽、ダンス、演劇、コント、パフォーマンス、ポエトリーリーディング……。自由な表現の場を提供。1 組の持ち時間は 15 分。

日 時：2 月 4 日（日） 13:00～15:00

定 員：先着 8 組

申込み：アーツ前橋へ電話（Tel.027-230-1144）

◎ 公園セッション

毎週日曜日に公園で開催される即興セッション。パフォーマンス、演劇、ダンス。そして楽器の演奏、ポエトリーリーディング、はたまた DJ など。公園デビューの面白さをぎゅっと集めた多様なジャンルの表現の織り重ねが、どんな空間を創るでしょうか。飛び入り参加や楽器等の持ち込みも歓迎。

日 時：①2 月 4 日（日） 15:00～17:00

②2 月 11 日（日） 15:00～17:00

③2 月 18 日（日） 16:30～18:30

出 演：公園にいる皆さん

◎ パフォーマンス 白い人たち

白いペルソナを得たパフォーマー達は、自己を解放し、バスガイドのダンサーや音楽隊とユーモラスに戯れ、地下ギャラリーを漂います。

日 時：①2月 4日（日） 15:00～16:00

②2月 17日（土） 16:00～17:00

③2月 18日（日） 16:30～18:30

出 演：白い人たち（大日向基子と桐生大学短期大学部学生・卒業生）

ファインフィットインストラクター（2月4日のみ）

秋福音ほか（2月17日のみ）

新井隆人、ぴったと仲間たちほか（2月18日のみ）



左から、《白い人たち 2017.11.5》撮影：原田裕香／ぴったと仲間たち／秋福音

◎ 灰ホトラ 第11回公演「プロペラブランコ」ろくゆれめ

脚本、演出、音楽、広報デザインと俳優以外のすべてをこなす荒木聡志の演劇ユニット「灰ホトラ」による連作シリーズ新作。5人の女優が織りなす、声とからだと政治の演劇。

日 時：①2月 4日（日） 17:00～18:00 アフタートーク 18:00～18:30

②2月 10日（土） 17:00～18:00 アフタートーク 18:00～18:30

◎ 談話室 荒井 第一夜／第二夜

寺山修司や唐十郎の跋扈する猛毒の70年代。バブルが生んだ空前の80年代小劇場ブーム。当事者、共愛学園高校教諭の荒井正人が未聞の証言とともに語るニッポン演劇入門講義。

日 時：第一夜：2月 8日（木） 19:00～20:30

第二夜：2月 15日（木） 19:00～20:30

会 場：ROBSON COFFEE アーツ前橋店

出 演：荒井正人、小出和彦

参加費：1ドリンク以上のオーダー

◎ 中村ひろみ ひとり芝居『初恋橋』

とある山間の村を訪ねた女に向けて語られる老婆の思い出話—かつてその村にあった、いのちを繋ぐ「橋」ゆかりの男とは誰なのか。石山幸弘が中村ひろみのために書き下ろした戯曲の初上演。

日 時：①2月 9日（金） 17:00～18:15（アフタートーク込）
②2月11日（日） 17:00～18:15（アフタートーク込）
③2月12日（月・祝） 17:00～18:15（アフタートーク込）
④2月15日（木） 17:00～18:15（アフタートーク込）

※開場は20分前より

定 員：各回先着30名

事前申込み：20名まで、アーツ前橋へ電話（Tel.027-230-1144）

作：石山幸弘（日本児童文学学会会員・大逆事件研究者）

演出・出演：中村ひろみ（演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ）

◎ 演劇のインプロヴィゼーション

インプロ（即興劇）を通じてコミュニケーションや表現を楽しもう！あらかじめ設定も台本もない、予測不可能な即興劇！経験問わず参加可能です。

日 時：2月10日（土） 15:30～17:00

講 師：郡司厚太

◎ 親子で体験ワークショップ

打楽器を叩いて音を出したり、リズムに合わせて踊ってみたり、自由にからだであそぶ身体感覚を親子で体験するワークショップ。

日 時：2月11日（日） 11:30～12:30

対 象：4歳から小学生までの子どもとその保護者

講 師：石坂玄士、山賀ざくろ

定 員：先着20組

申込み：アーツ前橋へ電話（Tel.027-230-1144）



◎ パフォーマンス「村田峰紀×村田桂吾」

音楽に狂い続けている兄、村田桂吾とパフォーマンスで狂い続ける弟、村田峰紀が2人に流れる同じ血、熱量のぶつかり合い公開兄弟喧嘩！音楽と身体のパフォーマンスイベント！

日 時：2月11日（日） 13:30～14:30

出 演：村田峰紀、村田桂吾



《ドロー》2013年 撮影：木暮伸也

◎ ダンスパフォーマンス～『透明な感じあい』～サティと踊る山頭火、他・・・

感じあい、即興から生まれる動き。「創作ダンスひまわり会」と「MJOG 踊る会」によるダンスパフォーマンス。

日 時：2月11日（日） 17:00～18:30

出 演：創作ダンスひまわり会、MJOG 踊る会



◎ 「not body, からだのない」

身体のない演劇。存在しないかれらのkoeに耳をかたむけるためのエクササイズ。

日 時：17:00～19:00（平日）／13:00～19:00（土日祝）

出 演：小出和彦／前橋ユーレー

定 員：30名

◎ アーツ前橋で公園デビューした人たちのフォーラム

「公園デビュー」に参加した人たちの語り場。出会った人たちそれぞれの表現や今後の展望について語り合いましょう。

日 時：2月12日（月・祝） 11:00～13:00

◎ 月映 TSUKUHAE ライブ

詩人新井隆人と、ミュージシャン carry 音によるユニット「月映 TSUKUHAE」による、こえとうたとおとの、しずかなライブパフォーマンス。

日 時：2月12日（月・祝） 13:00～13:30

出 演：carry 音、新井隆人



撮影：アンダーソン

◎ ラストポエトリリーディング「ラストエンペラー（The Last Emperor）」

酒井は詩のようなものを書く。朗読による発表にも取り組み、出し物に「Gatorade の人」「Häagen-Dazs の樵」等があるが、活動は年に一回程度である。詩集等の著作もない酒井一有が行うポエトリリーディング。

日 時：2月12日（月・祝） 13:30～14:30

出 演：酒井一有

撮影：ookijingu



◎ サウンドパフォーマンス

西原尚は音を主軸に美術制作とパフォーマンスを行う。音を鳴らすために必要な体や物へ関心は展開し、活動領域は美術や音楽と国境を横断している。身体を主軸にしたパフォーマンスを行う村田峰紀とのコラボレーション。

日 時：2月12日（月・祝） 15:30～16:30

出 演：西原尚、村田峰紀



◎ シンポジウム「身体拡張 2018」

「公園デビュー」に関連し、美術、哲学、舞踊など様々な視座から身体拡張の可能性について考察。

日 時：2月12日（月・祝） 17:00～18:30

登壇者：白川昌生（アーティスト）、住友文彦（東京芸術大学大学院准教授、アーツ前橋館長）
武藤大祐（群馬県立女子大学准教授、ダンス批評家）

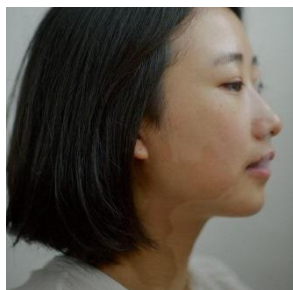
◎ アバンギャルズ 2018 山賀ざくろセレクション

山賀ざくろのプロデュースで 2013 年にスタートしたアバンギャルズシリーズ。今回はこれまでの出演者からクレージーダンスの Abe “M” ARIA、舞踏の今貂子、クラウンのラブリー恩田の 3 名に加え、気鋭の若手コンテンポラリーダンサー小暮香帆、地元前橋のミュージカルユニット cabo が出演。このラインナップは見逃せない！！山賀ざくろもギャルになりすまし登場！？

日 時：①2 月 16 日（金） 15:00～19:00（※公開リハーサル）
②2 月 17 日（土） 11:00～12:30（※公開リハーサル）
③2 月 17 日（土） 13:00～15:30 アフタートーク 15:30～16:00

出 演：今貂子、ラブリー恩田、山賀ざくろ、Abe “M” ARIA（2 月 16 日）

今貂子、小暮香帆、ミュージカルユニット cabo、山賀ざくろ、ラブリー恩田、Abe “M” ARIA（2 月 17 日）



左から、

今貂子／撮影：三村博史

小暮香帆／撮影：金子愛帆

ミュージカルユニット cabo／撮影：Keita Arai

ラブリー恩田／撮影：橘蓮二

Abe “M” ARIA／撮影：小熊栄

◎ 舞踏体験ワークショップ

呼吸法、和の身体技法をとりいれた今貂子の舞踏メソッドを中心に、足腰を鍛え、からだの軸を整え、心身一如の表現である舞踏の基礎を学ぶ初心者向けのワークショップ。

日 時：2 月 18 日（日） 11:15～12:30

講 師：今貂子

対 象：先着 30 名（高校生以上）

申込み：アーツ前橋へ電話（Tel.027-230-1144）

◎ ミュージカルユニット cabo 単独パフォーマンス

2月17日（土）のアバンギャルズ 2018 で上演する作品『寄席カボ』をアーツ前橋の館内のどこかで上演します。カボが三席の落語『三年目』、『たのきゅう』、『花見酒』を切りまくった末をどうぞご覧ください。

日 時：①2月18日（日） 12:30～13:00

②2月18日（日） 16:00～16:30

出 演：ミュージカルユニット cabo

◎ 軋轢オーケストラ

前橋周辺の民族音楽、ノイズ、セッション系ミュージシャンが一堂に会し、フリーセッションを展開。ポエトリーリーディング等も加わり、アーツ前橋が大きな表現の渦に包まれます。

日 時：2月18日（日） 13:00～16:00

出 演：アビシエイカー、新井隆人、國崎理嘉、佐藤あつし、鈴木伸一、絶望グロテスク、
にれいとしゆき、carry 音、KPC、kuku、OMEGA POINT

◎ 木金土日祝∞ざくろちゃん

山賀ざくろは開催期間中、毎日が“公園デビュー！”のつもりで、連日会場のどこかで、何かいろいろトライします。ソロダンスやボイスパフォーマンス、ご来場の誰かさんとふらっと即興ダンス、がつつり身体と向き合う大人対象のワークショップ、ダンシング☆ベレーちゃんではみんなで街へ出てみましょうか。

◎ 期間中常設展示「清水保彦コレクション」

四半世紀にわたり群馬県のアマチュア演劇公演のほぼすべてを見続けてきた清水保彦その観劇の記録。貴重なチラシ、パンフレット、チケット半券などからシーンを振り返ります。

関連イベント

◎ あ一つひろば for U25

アーツ前橋でアートを鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したり…ひろばのように色々な体験ができるイベントプログラムあ一つひろば。今回は、「身体拡張 2018 公園デビュー」関連事業として、高校生・大学生・その同年代の皆さんを対象に開催します。

1 はじめての“演技”

ドラマ、映画、舞台の俳優、アニメや映画の吹き替えをする声優、お笑い芸人—その基礎となる“演技”。発声のコツを学び、声に感情をのせて人に伝わる演技をしてみよう！

日 時：2月3日（土） 17:00～19:00

講 師：坂川善樹（隆善舞台主宰）
参加費：無料（同時開催のイベント「公園デビュー」の入園料が必要）
対 象：演技に関心のある高校生や大学生、その同年代の方
定 員：先着 10 名程度
申込み：アーツ前橋へ電話（Tel.027-230-1144）

2 ウマくなくてもイイ DJ

DJ の機材とともに地元で活躍する DJ OKANIWA が時間中滞在。はじめての DJ を体験してみるもよし、聴くもよし、踊るもよし。音楽好き集まれ！

日 時：2 月 17 日（土） 17:00～19:00
講 師：OKANIWA（DJ）
参加費：無料（同時開催のイベント「公園デビュー」の入園料が必要）
対 象：DJ に興味のある高校生や大学生、その同年代の方
申込み：アーツ前橋へ電話（Tel.027-230-1144）

公園の使い方説明会

期間中は、「公園デビュー」と称して様々な身体表現の場としてギャラリーを利用することができます。演劇やダンスの練習・発表場所として、アーツ前橋で公園デビューしてみませんか？アーティストたちとの即興セッションもあるかもしれません。利用条件やみんなでつかえる機材などの説明会を実施しますので、希望される方は説明会にご参加ください。

日 時：1 月 22 日（月）、23 日（火） 19:00～
集 合：アーツ前橋 1 階 総合案内

主な参加アーティスト

秋福音／AKIFUKUIN

美術家 秋房和伸と音楽家 ふくいかな子を中心とした移動音楽喫茶ユニット。日用品やおもちゃ楽器等を主に演奏し、様々なアーティストと一緒にライブや音楽ワークショップ等で活動中。

アビシェイカー／Abisyeikah



Member:Katsumasa Motoki(Music Fanatics)。2004 年、「自由も勝手も同じだ、やりてえようにやっちゃえ！」の姿勢を以って社会に活力を与えるべく活動を開始。以後既製品の剽窃と改竄と駄洒落を主な武器にした家庭的テロリズム国家として「感じるな、考えろ」を合言葉にノイズグラインド～身体表現～物音系ノイズ～パワエレ～アイドル～詩人～DJ～ファッションショーの自作自演などミクスチャーという言葉ではカバーしきれない全方位型表現を志向。結成から 10 年を越えメンバーも脱退し孤軍奮闘を余儀なくされるも、むしろ表現の洗練度は上昇し、自称しているサウンドスタイルの「極上音楽 / Tip Top Music」を正に体现する孤高の存在となりつつある。

荒井正人／ARAI Masato



1953 年生まれ。東京都出身。埼玉で小 3 まで、後群馬で高校まで。1972 年から早稲田大学で主に詩文学、特に宮澤賢治研究をする。早稲田詩人会所属。劇研にも所属、後劇団「零人」結成、1976 年より群馬に戻り共愛学園に奉職、演劇部顧問として 40 年勤めた。

新井隆人／ARAI Ryuto



群馬県前橋市出身、在住。詩人。ソロでの詩朗読のほか、朗読ユニット「The Eyes」「軋轢」「くぼんぽん」「月映」等でミュージシャン等とのコラボレーディングを行う。支倉隆子氏主宰の詩劇公演すべてに出演者として参加。「前橋ことばの学校」「前橋ポエトリー・フェスティバル」「前橋ネコフェス」等を主催する「芽部」代表。

撮影：カメノヒロユキ

荒木聡志／ARAKI Satoshi



1977 年生まれ。群馬県前橋市出身。高校卒業後、漫画家のアシスタントを約 5 年間務める。この間に始めた音楽作りと、培った漫画創作のスキルを組み合わせ、1998 年、自身が作演出、音楽、デザインを担う劇団「灰ホトラ」を設立。現在まで大小 20 本の公演、他劇団の 11 作品に楽曲を提供。2014 年以降は劇場外で小公演を続けている。

石坂玄士／ISHIZAKA Gaishi



撮影：西原直紀

1971 年生まれ。群馬県桐生市出身。ソロ演奏をはじめ、演劇の音楽から舞踏、奉納演奏、即興セッションまで幅広い。神楽太鼓を主軸に、世界各地の民族打楽器を自由に操る稀なスタイルで、打楽器と動きによる、言葉なしでまるで会話をしているような独特の演奏は、子供から大人まで、観るもの聴くものを惹きこんでやまない。ワークショップも幅広い年齢層を対象に実施中。

今貂子／IMA Tenko

群馬県渋川市出身。1980-94 年、白虎社に参加。海外/国内公演に出演。2000 年、舞踏カンパニー倚羅座結成。2005 年、ヨーロッパツアー。2007 年より、日本型伝統劇場・五條會館で、舞踏公演開催。「花軍」(2012 年)、「閃光」(2013 年)で、文化庁芸術祭参加。2016 年 7 月より、KYOTO 舞踏館において、ロングラン公演開始。京都を拠点に国際的に活動を展開している。

大日向基子／OHINATA Motoko

日常の中にただ有り続ける、ひたむきで気まぐれな白い人たち。見ること・見られることの境界を曖昧にし、いつもの場所に異なる視点をもたらす。イギリスで修士課程を修了後、桐生大学短期大学部でアートと教育に関わりながら、身体と私的な体験を融合させる表現を研究。

郡司厚太／GUNJI Kota

群馬大学演劇部テアトルヒューメに所属した後、東京学芸大大学院にて演劇ワークショップを学ぶ。現在は教員でありながら精力的にファシリテーターとしてワークショップを行っている。

小出和彦／KOIDE Kazuhiko



1967 年生まれ。群馬県前橋市出身。高校時代より演劇を始め演出、脚本、俳優を手がける。1996 年前橋市舞台芸術活性化事業作品「橋屋」で作/演出を務める他、2011 年には青山学院大学ワークショップデザイナープログラムを修了。大学や地方自治体で演劇による地域教育にも関わる。近年はより自由に制度に縛られない作品づくりに務め精進の日々。光景旅団代表。

小暮香帆／KOGURE Kaho

1989 年生まれ。ダンサー、振付家。これまで笠井勲、笠井瑞丈×上村なおか、M-laboratory、Dance Theatre LUDENS、岩渕貞太、近藤良平など多数振付家作品に出演。2012 年よりソロ活動を開始。ソロ公演「遙かエリチェ」(2013 年)、「ミモザ」(2015 年)、「ユートピア」(2017 年)を上演。横浜ダンスコレクション R2015 コンペディション I 奨励賞受賞。第 6 回エルスール財団新人賞受賞(2017 年)。めぐりめぐるものを大切に踊っている。

酒井一有／SAKAI Ichiyu

1982 年生まれ。神奈川県鎌倉市出身。詩のようなものを書く。朗読による発表にも取り組み、出し物に「Gatorade の人」「Häagen-Dazs の樵」等があるが、活動は年に一回程度である。また詩集等の著作もない。

坂川善樹／SAKAGAWA Yoshiki

1973 年生まれ。群馬県高崎市出身。隆善舞台主宰。高校演劇から市民劇団を経てプロへ。演出部、俳優部を経験し、1998 年帰郷。前橋市を中心に県内外において舞台監督、俳優として活動。他に、照明、音響、など舞台全般の裏方として地域芸術とかかわっている。

佐藤あつし／SATO Atsushi



ベーシスト。1980 年代、ガガーリンやばちかぶりなど東京アンガラシーンで活動。1990 年代、北京で蒼蠅楽隊に加入、北京のロック創成期に活動。2002 年 1 月、ライブ BAR 前橋 coolfool をオープン、現在に至る。

鈴木伸一／SUZUKI Shinichi



MJQ のプロデューサー&竹内敏明カルテット、DUO ユニット、ジャズフレのサクソ奏者。20 代半ばより、ロックグループ等に参加し、前橋ガーシャなどに出演。「突然段ボール」と原宿で共演も。上毛新聞賀詞交歓会にて 19 年間演奏、世界室内陸上ファイナルバンケットにて演奏、ザスパクサツ群馬試合前で演奏など。アーツ前橋で開催のロビーライブのコーディネートも行う。

絶望グロテスク／ZETSUBOUGROTESQUE



群馬県高崎市在住。ソロ・ノイズユニット。ノイズ＝音そのものを探求し、地元群馬や東京等で活動中。

撮影：新井隆人

創作ダンスひまわり会&MJOG 踊る会

共に、前橋女子高校で教鞭をとり、ダンス部顧問であった山口直永氏の教え子。退職後「創作ダンスひまわり会」を作り、一貫して感じあい、即興で踊るダンスを指導。大野一雄記念公演『百花繚乱』等にも出演。山口直永氏追悼公演（2011 年）で一緒に踊る機会を得、以来、年に一度、ダンスパフォーマンスを行う。ダンス歴 30 年以上。心は歳をとらない！より自由な心で、いきいきと踊る女性たち。

月映／TSUKUHAE

詩人新井隆人と、ミュージシャン carry 音によるユニット。ことば、うた、おとを組み合わせ、音響的な広がりを意識したライブを行う。

てあしくちびる／TEASHIKUCHIBIRU



撮影：岡田友大

2010 年 12 月結成。2 人きりの人間とアコースティックギターとバイオリンによる編成。編成ありきではなく、そういったある種の制約に対して「その向こう側に飛翔しようとする」ことでしか得られない「感覚を通過したリズムや音や言葉や声で表現。2014 年 6 月 11 日 1st Album『Punch! Kick!

Kiss!』全国発売。2014 年 11 月 1 日浦崎力監督てあしくちびる MV『ベリ』が新千歳国際アニメーション映画祭 2014 国内パノラマプログラムにて上映。2014 年 12 月 5 日フジテレビ深夜番組「未来ロケット」出演。2016 年 2 月雑誌マガジンハウス「relax」にインタビュー掲載。2016 年 6 月 3 日 2nd Album『coreless』全国発売（発売:club Lunatica）。

内藤奈美／NAITO Nami



1983 年生まれ。東京都出身。ダンサー。詩人・深澤紗織氏主宰「Poetry Circus Project」団員。同プロジェクトに参加したことをきっかけに詩と出会い、身体と言葉の融合を模索し始める。現在は自ら詩作も行い、朗読と踊りを織り交ぜたパフォーマンスを展開。言葉を声に、声を身体の一部として、踊る言葉で世界を描く。

中村ひろみ／NAKAMURA Hiromi



1963 年生まれ。東京都出身、1989 年より前橋市在住。明治大学文学部演劇学科卒。1992 年～「演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ」主宰。公演ごとのテーマに合わせたスタッフ・キャストによる演劇プロジェクトとして別役実、清水邦夫等戯曲の演出・出演。前橋文学館リーディングシアターの演出・出演。県立県民健康科学大学舞台芸術非常勤講師、県文化審議会委員、県文化づくり支援事業評価委員。一般向け演

撮影：平山素也

劇セミナー開催。

にれいとしゆき／NIREI Toshiyuki



群馬県前橋市在住。口琴奏者。即興演奏家。不思議な音色に惹かれ 2000 年頃より口琴を弾き始め、以来その奥深さ、魅力にはまる。口琴だけでなく色々な楽器、時には楽器以外の物を使って即興演奏を行う。日本口琴協会会員。

撮影：前田康久

灰野敬二／HAINO Keiji

1952 年生まれ。千葉県出身。アントナン・アルトーに触発され演劇を志すが、ザ・ドアーズに遭遇し音楽に転向。ブラインド・レモン・ジェファーソンをはじめとする初期ブルースのほか、ヨーロッパ中世音楽から内外の歌謡曲まで幅広い音楽を検証し吸収。1970 年、エドガー・アラン・ポーの詩から名を取ったグループ「ロスト・アラーフ」にヴォーカリストとして加入。また、ソロで自宅録音による音源制作を開始、ギター、パーカッションを独習する。1978 年にロックバンド「不失者」を結成。1983 年から 87 年にかけて療養のため活動休止。1988 年に復帰して以来、ソロのほか「滲有無」、「哀秘謡」、「Vajra」、「サンヘドリン」、「静寂」、「なぞらない」、「The Hardy Rocks」などのグループ、experimental

mixture 名義での DJ、他ジャンルとのコラボレーションなど多様な形態で国際的に活動を展開。ギター、パーカッション、ハーディ・ガーディ、各種管弦楽器、各地の民間楽器、DJ 機器などの性能を独自の演奏技術で極限まで引き出しパフォーマンスを行う。170 点を超える音源を発表し、確認されただけでも 1500 回以上のライブ、パフォーマンスを行っている。

ぴったと仲間たち／PITTA&THEIR FRIENDS

桐生、足利を拠点に活躍しているユニットぴった(May&Yukari&Mie)が、仲間たちと共にバスガイドに扮した Funny Lady を演じる。チャーミングなダンスと演技力で魅了しつつ、観客を公園に案内する。

ミュージカルユニット cabo／musical unit cabo

2006 年に結成したオールガールズ・ミュージカル集団。群馬県前橋市を中心にミュージカルに何ができるのか、何がミュージカルとなりうるか、とりあえずミュージカルやりたい！という人たちの集まり。発表するミュージカル作品はすべてオリジナル。2016 年には結成 10 周年を迎え、第 15 回公演「うたたね〜時太鼓と伽羅香〜」を上演。今回も和装ミュージカルに挑戦します！

村田峰紀／MURATA Mineki

1979 年生まれ。群馬県出身、前橋市在住。2005 年多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業。原始的な身体所作で強いインパクトを与えるドローイングパフォーマンスや、その結果として産み出されるインスタレーション、映像等を発表している。「アブラカダブラ絵画展」(2017 年、市原湖畔美術館、千葉)、「間人」首くくり栲象×村田峰紀×山川冬樹(2016 年、前橋市芸術文化れんが蔵、群馬)

山賀ざくろ／YAMAGA Zakuro



舞踊家・演出家。たまに歌手・俳優。そのいい具合に力の抜けたダンスは、老若男女、世代を問わず魅了する。アーツ前橋内覧イベント「WALK あるくことから はじまること」パフォーマンス総合演出、同グランドオープンのセレモニーで披露された合唱曲「カゼイロノハナ」の作曲等。近年は「アバンギャルズ」のプロデュースや演劇作品の上演など、地元の舞台芸術シーンに静かに浸食中。

撮影：小熊栄

ラブリー恩田／lovely ONDA

群馬県太田市出身。フランスのフィリップ・ゴーリエ演劇学校にて演劇とクラウンを学ぶ。ソロショー「内緒の話」や隔月で「ラブリー恩田のあそびないと」を展開中。ジャンルを問わず面白い人たちを集めたイベントの企画や、クラウン、マイム作品などの演出もしている。最近は落語会や演芸イベントでも活躍中。2006 年より黒沢美香&ダンサーズに参加。

和合亮一／WAGO Ryoichi

詩人。中原中也賞、晩翠賞、みんゆう県民大賞、NHK東北文化賞などを受賞。東日本大震災の直後からツイッター上で連作詩『詩の礫』を発表し、オランダのコンサートヘボウホールなどにて朗読をするなど国内外から注目を集める。詩集やエッセイ集、絵本などを多数刊行。合唱曲の作詞多数。昨年秋に、シンガポール・ライターズ・フェスティバルにて日本代表詩人に選出された。現在、毎日新聞、共同通信、産経新聞などの新聞や雑誌の連載。ラジオ福島、KBS 京都、HBC 北海道放送などで放送中の「詩人のラヂオ」のパーソナリティを長年に渡り担当中。2017 年 7 月にフランスにおいて仏語訳『詩の礫』が、第 1 回ニュンク・レビュー・ポエトリー賞を受賞。

Abe "M" ARIA

群馬県前橋市出身。高校在学中創作ダンス部にて踊り始める。その後様々な舞踏家・ダンサーのワークショップへの参加を経て、即興で踊ることを主体とした独自の稽古を開始。主な活動としてはソロ公演やミュージシャンとのライブを行う他、国内外のフェスティバルなどにも多数参加。また路上などでも頻繁に踊り、劇場の枠にとらわれない身軽な活動を継続中。ソロ以外にダンスユニット「POP HEADS!」でも活動中。

carry 音／CARRY On



carry 音という名前で至極ゆるく音楽活動を行う。名前の由来は「音を運ぶ」。ギターと歌と時々フレームドラムやルーパーなどを使って演奏、北欧や寒い地域の民謡の要素も取り入れている。

撮影：橋本剛

KPC



セッションドラマーとして活動後、打楽器奏者へ。ジャズドラムの技法やアフリカンを根源に置いたインプロバイザーとして、様々な演奏形態、多様な楽器を駆使した活動を行っており、ダンサーやパフォーマー、詩人など非ミュージシャンとの共演も多い。

撮影：栗原大輔

kuku



前橋中心に活動するソングライター。自作曲ライブのほか、詩や絵本の朗読とのコラボレーション、子ども向けおはなし会での歌や演奏、楽曲制作・提供など行う。音楽活動の他にグラフィックデザイン、イラスト制作などでも活動中。猫変態。

撮影：Eri

OKANIWA



群馬県を拠点に【独創的・普遍的・革新的】な現象を求めDJ出演、イベントの企画等で活動している。DJは表現を出来るだけ自由に、且つ鳴りに魅せられた選曲でミニマルから音響まで様々にプレイ。イベントは高崎 WOAL にて「myth」。桐生 Level-5 にて毎月開催の「Narco」とその周年パーティー「クレナイ」、「Octa」等を中心に展開。また、アーツ前橋のプレオープンイベントやロビーライブのコーディネーターも務めている。<http://ryookaniwa.tumblr.com/>

Omega P Saitoh



1970年代、「美学校」にて現代美術家の松沢宥氏に師事。また現代音楽家の小杉武久氏とも交流を持ち、アートパフォーマンスにおける方法論として音楽表現を開始した。その形態はインプロヴィゼーションを主とするが、その時、場所、により柔軟かつ自由に対応する。OMEGA POINTのユニット名で活動を行う。

撮影：Hiroyuki Nagashima

Rinn



前橋市在住、アコーディオン弾きのうたうたい。2010年にアコーディオンと出会い、同年よりアコーディオン弾き語りによるライブ活動を開始。現在は前橋を拠点に、各地で演奏活動をおこなう。テーマは「ものがたりうた」。アコーディオンと「ものがたり」を活動の中心に、オリジナル曲を演奏するライブ活動のほか、各種イベント出演や、子どもさん向けの企画、ワークショップなど、様々な活動の形を展開中。ここにいながら「そこにいかれる」、そんなちいさな物語のような時間・空間をアコーディオンの音色とうたでつくります。ここではないどこかにいるような時間をどうぞおたのしみください。

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、事業名称と会期を表記してください。
- ・本プレスリリース内の画像等を掲載する場合は、事前にご連絡いただき、撮影等のクレジットがあるものは正確に表記してください。
- ・本事業の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材、収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当 山田（広報担当）、五十嵐（学芸担当）

〒371 - 0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL : 027-230-1144

FAX : 027-232-2016

URL : <http://www.artsmaebashi.jp/>

E-MAIL : artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

●公共交通機関

JR 前橋駅から徒歩約 10 分

上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分

●自動車

関越自動車道 前橋 I.C から車で約 15 分



※ P マークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に割引処理いたします。